

安芸市水道事業経営戦略【概要版】

1. 事業概要

- 事業名：安芸市水道事業、経営戦略計画期間：令和7年度～令和16年度(10年間)
- 供用開始年月日：昭和27年11月1日、計画給水人口：16,203人、現在給水人口：15,336人（令和5年度）
- 水源（地下水）、配水池：13箇所、管路延長：176.30km（令和5年度）
- 施設能力：8,560m³/日、施設利用率：62.41%
- 事業運営組織：安芸市上下水道課において事業運営しています。

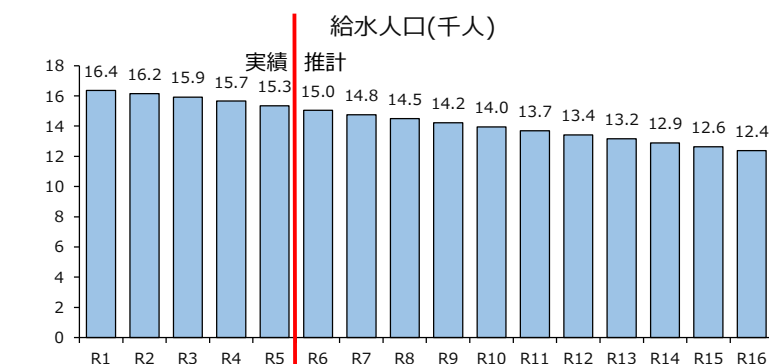
2. 経営状況

- 令和6年度決算見込みにおける主な経営指標は次のとおりです。
- 経常収支比率：118.1%
- 料金回収率：113.3%
- 有収率：90.0%
- 企業債残高：1,048百万円
- 企業債残高対給水収益比率：397.6%

3. 将来の事業環境

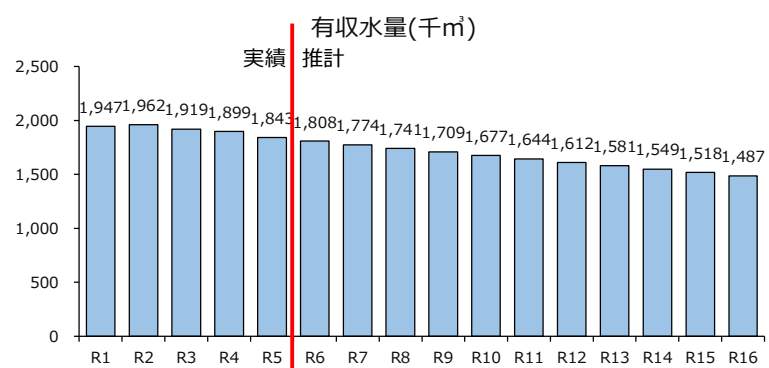
（1）給水人口

- 計画期間末の令和16年度には、少子高齢化等の影響により、令和5年度給水人口の81%程度に減少する見込みです。
- 給水人口＝行政区域人口（推計値）×普及率（R5年度実績値）
- 行政区域人口の推計は、「国立社会保障・人口問題研究所」による将来推計人口（令和5年12月公表）を用いて推計しています。



（2）有収水量

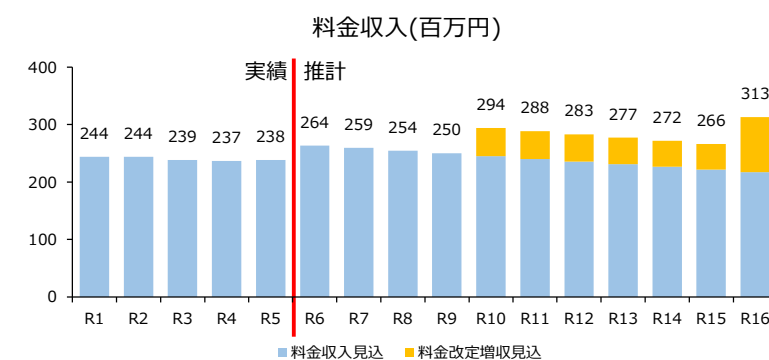
- 計画期間末の令和16年度には、給水人口と同様に減少し、令和5年度の81%程度に減少する見込みです。
- ※ 有収水量＝給水人口×1人当たりの有収水量（R5年度実績）



（3）料金収入

- 令和5年度に料金改定を実施しましたが、必要な設備投資や更新に要する財源を確保し、計画期間の令和16年度までの10年間において安定経営を行うためには、令和10年度及び令和16年度に料金改定（20%）が必要となる見通しとなっています。

※ 料金収入＝有収水量×供給単価（有収



4. 経営の基本方針

- 水道事業の健全経営を図りながら、安定した生活用水を確保できるよう、老朽管の更新、配水池や配水管などの耐震化を進めていきます。
- 安全な水の安定供給
→老朽配水管などの布設替えを進めます。
→配水池、配水管などの計画的な更新・耐震化に努めます。
- 料金制度の最適化
→管理コストの削減や漏水調査の強化により、更なる有収率の向上に努めるとともに、経営診断を行い、経営健全化に努めます。

5. 投資財政計画

＜投資に関する目標＞ 計画期間 令和16年度末における目標

- 有収率：R16年度90%以上を維持します。（R5年度90%）

＜投資の目標に関する考え方＞

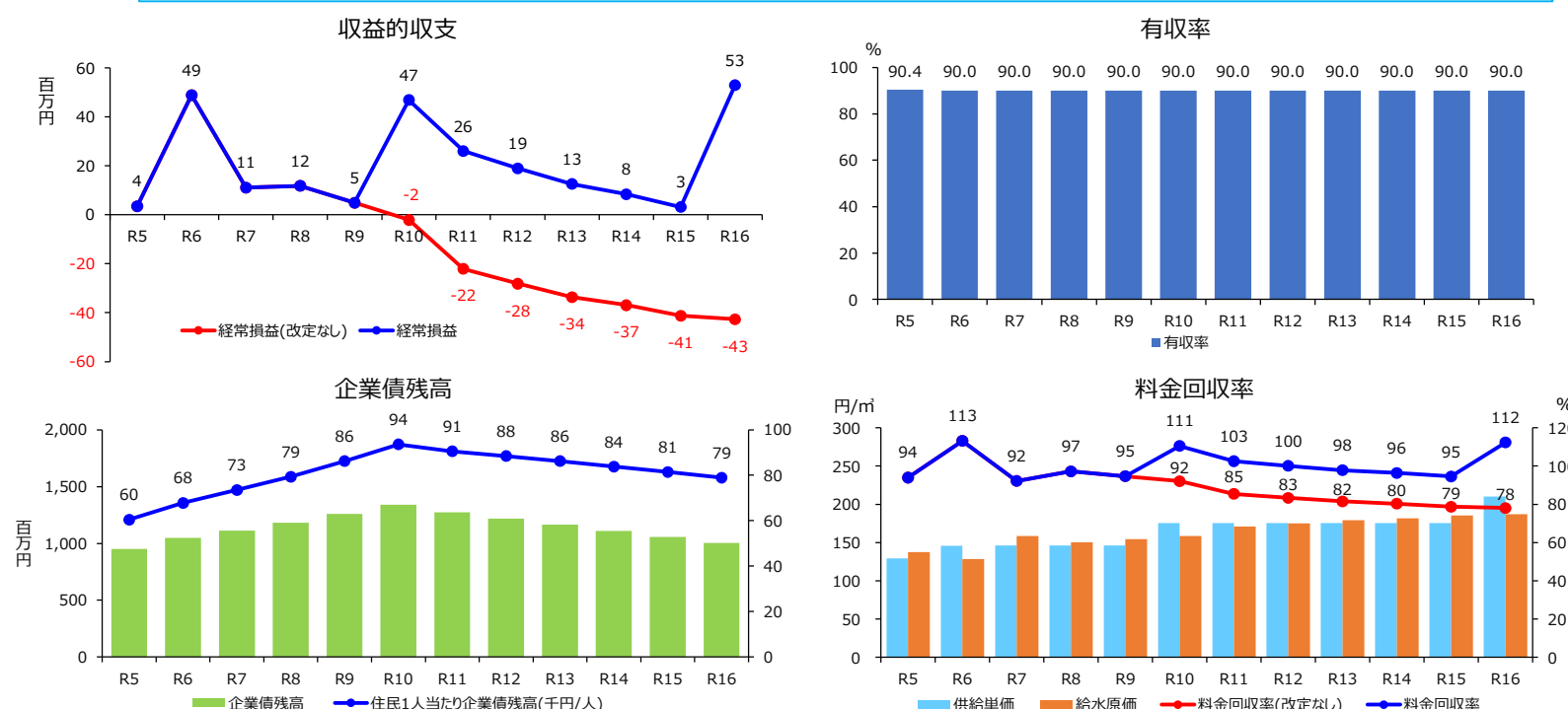
- 更新計画に基づき、令和16年度までの10年間で、総額約17億円を投じて、南海トラフ地震に備えて、老朽化した管路の耐震化や耐用年数を経過した配水管の布設替え等の総合的かつ計画的な更新を進めていきます。

＜財源に関する目標＞

- 経常収支比率100%以上を目指します。

＜財源の目標に関する考え方＞

- 料金収入：適正な料金設定を検討し、料金改定の実施により投資のための財源を計画的に確保していきます。
- 企業債：必要に応じて借入れを行います。企業債の償還により経営が圧迫することのないよう、計画的な起債を実施していき



6. 今後の検討予定等

- 将来にわたって安定的に事業を継続していくため、毎年度進捗管理を行うとともに、概ね3年から5年に一度見直しを行います。見直しに当たっては、本戦略の投資・財政計画の試算と実績との乖離及びその原因を分析し、その結果を企業経営に反映させるPDCA（計画・実施・検証・見直し）サイクルを導入します。
- また、本戦略策定後において、広域化や民間活用等の新たな経営健全化や料金見直しなどの財源確保に係る取組が具体化した場合等においては、本戦略に追加し、投資・財政計画の更新を行います。